

# もっと！ きれいな口元美人への道

デンタルニュース23『審美歯科①』では主に「歯を白くするための審美歯科治療」をご紹介しました。

審美歯科治療にはこのほかに「歯ぐきをきれいにする」「歯の形をきれいにする」「歯並びをきれいにする」「よく噛めるようにする」また、見えない美しさとして「口臭を予防する」など、さまざまな目的に合わせた治療方法があります。

## ホワイトニング以外にも……審美治療の種類

### ■歯ぐきをきれいにしたい

⇒ 歯ぐきの炎症や変色を取り除き、出血や口臭をなくす

### ■歯の形をきれいにしたい

⇒ 歯の一部、または全部を人工材料でかぶせる

### ■歯並びをきれいにしたい

⇒ 歯並びと咬み合わせをよくする矯正治療

### ■よくかめるようになりたい

⇒ 人工歯根を骨に植えて人工の歯を作る方法

# 審美治療は高額？

## 審美治療のほとんどが「保険外診療」

「保険診療」とは健康保険法によって定められた診療で、材料・方法・診療報酬等が事細かに決められています。ごく一部の例外を除き、すべての治療は保険診療で行うことができますが、保険診療は「悪くなってしまった歯を日常生活に支障のないレベルへ回復する」ことを目的としているため、「より快適にする」「より綺麗にする」「将来悪くならないように予防する」といった目的には、保険診療を適用することが出来ません。



日常生活に支障のないようにする治療  
⇒ 保険診療



美しさや快適さのための治療  
⇒ 保険外診療

例えば、審美性（見た目）、快適性（使い勝手）、被せものの適合性（精度）、耐久性、矯正など、生活の質をあげるような高い要求には応えられず、この制限の枠を越えた診療は「保険外診療（自由診療）」で行うことになります。

審美歯科は美しい自然な歯の仕上がりを目的としているため、保険での診療が認められていないのです。

# 歯ぐきをきれいにしたい ~レーザー・薬品治療

歯ぐきの色が悪くなる原因	治療方法
歯の治療の金属による、金属アレルギーでメラニン色素が増えて変色	金属をとって、代わりにオールセラミックス製の歯を入れれば、刺激がなくなり、歯ぐきの色も元に戻ってきます。
さし歯が合わなくて歯ぐきが炎症を起こし、さし歯部分の歯ぐきが黒くなる	歯に合ったものをつくり直し、入れ替えます。
歯槽膿漏（歯周病）が原因で、血行障害が起き、歯ぐきが変色	歯槽膿漏の場合はプラークをきれいに取り除き、ブラッシングをよくして血液循環をよくします。血行がよくなれば、歯ぐきもピンク色に戻ってきます。

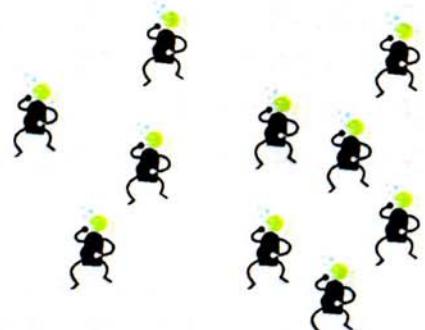
原因を取り除いても色が変わらない場合や、原因がわからない場合は、「ガムフィットネス」という治療によってきれいな歯ぐきに変えることができます。ガムフィットネスの治療方法は2つあります。

## ■レーザー治療

レーザーでメラニン細胞だけをとる方法です。

変色が部分的な場合は効果的ですが、歯ぐき全体に広がっていると、レーザーで全部取りきるのは大変です。

その場合は、薬品で表層を剥ぐ治療のほうが効率的です。



## ■薬品治療

歯ぐきの表面に薬品を塗って歯ぐきの表層を一層剥がす方法です。歯ぐきの変色は、歯ぐきの表層にメラニン細胞があるために起るので、その表層を剥ぎます。



生まれつき歯ぐきが黒い方は表層をはいで、効果はありません。メラニン色素が再生されやすい体質の方もいますから、ふだんからタバコなど、色素沈着の原因になるものは控えます。タバコは、歯や歯ぐきに色素が沈着しやすいだけでなく、メラニン細胞を活性化したり、血管を収縮させますから、歯にも歯ぐきの健康にも悪影響を及ぼします。

# 歯の形をきれいにしたい ~差し歯・かぶせ物

## ■ラミネートベニア

歯の表面を一層削り落とし、そこにセラミックまたはプラスチックの薄い板を貼り付ける治療法です。小さい歯を大きくして歯と歯の隙間を閉じたり、着色・変色した歯を白く見せる事ができます。歯を削る量が少なくて済みますが、歯の形、歯並びの修正には限界があります。

- 歯の一部が欠けたり摩り減って形が見苦しい部分の回復
- 歯の隙間（すきっ歯）の改善
- 本来の歯より小さい歯（矮小歯）の改善
- 傾いた歯や捻じれた歯の修正
- 歯の表面の凸凹や詰め物があり歯の表面が均一でないものの改善
- 軽度の歯並びの修正
- 変色歯の改善
- 治療回数も少なく（通常2回）、歯を最小限しか削らない

## ■インレー

歯の一部をつめる方法です。ポーセレン・インレー法は、ムシ歯を削って人工材料を詰め、きれいにする方法です。虫歯の治療あとをきれいにすることもできます。金属と違って歯の色を自由に調色できますので、天然歯と同じような自然な感じがします。

## ■メタルボンドクラウン（差し歯）

歯の表面（全面）を削り、セラミックスやハイブリット素材の冠（クラウン）を接着し歯の形態、色調、機能を再現する治療法です。金属の上に陶材を焼き付ける方法をメタルボンドといいます。

### ●使用金属

- ニッケル
- ゴールドと白金加金
- ゴールド など



## ■カントゥアイング（審美的輪郭形成）

歯をエナメル質の範囲内で削り、調和のとれた審美的で機能的な形に歯を整える方法です。視覚的にバランスが取れていない場合、歯の尖った角や面を修正研磨する事で、歯に個性と調和をもたらします。



男性らしい歯を表現したい場合  
平坦で角の張った形態に整えます。



女性らしい歯を表現したい場合  
丸みのある柔らかいラインに形を整えます。

## ■ダイレクトボンディング

コンポジットレジン樹脂を直接歯に接着し、美しい歯の形を作り上げる方法です。

応用範囲が広く、症例によっては比較的リーズナブルな料金で美しい歯に修復出来ます。

- 歯の一部が欠けたり摩り減って形が見苦しい部分の回復
- 歯の隙間（すきっ歯）の改善
- 本来の歯より小さい歯（矮小歯）の改善
- 傾いた歯や捻じれた歯の修正
- 歯の表面の凸凹や詰め物があり歯の表面が均一でないものの改善
- 軽度の歯並びの修正
- 変色歯の改善

## ■審美治療に使用する白い材料

レジン 保険内	プラスティック素材で、強度が弱く変色もおこします。
ハイブリッド 保険外／自由診療	色調や強度はセラミックに劣りますが、破損修理可能で、セラミックより安価です。
セラミック (ポーセレン) 保険外／自由診療	「陶材」のこと、食器などと同じ焼き物です。色調は天然歯に最も近く、変色したりすり減りも起こりません。金属を使わないオールセラミックと金属をまいたメタルボンド治療があります。水を吸収しないため、材料が劣化せず何年たっても変色しません。

## 歯並びをきれいにしたい ~矯正・かぶせ物~

歯並びを美しく見せるには、大きくは「矯正治療」「かぶせ物による治療」の2つがあり、矯正は歯に施す「矯正治療」とあごの骨格に施す「外科矯正治療」とあります。

### ■矯正治療による方法

矯正治療は「時間がかかる」「矯正装置（プレースといわれる）が見えるから嫌だ」といわれることもありますが、最近では目立たない矯正装置や見えない矯正装置（リンガル矯正装置）なども登場しています。

矯正治療は子供だけではなく、大人になっても十分可能です。また、治療期間を短縮するいろいろな方法もありますので、矯正専門医に相談してみてください。

### ■外科矯正治療による方法

あごの外科手術と矯正治療を組み合わせた治療です。矯正治療だけでは治せない骨格的な問題も、外科矯正治療により治すことが可能です。

正常な咬み合わせを取り戻し、顔のバランスや口元の形を整えることができます。外科矯正治療は保険の適応となります。

### ■かぶせ物による方法

人工的なかぶせ物（セラミッククラウンやラミネートベニアなど）により、歯並びをきれいにする方法です。

歯や噛み合わせの状況によって、この方法には限界があります。

## ブリッジ 一部だけ歯がない場合

固定式のため装着しても違和感はありません。

部位（場所）によっては、天然歯と区別なく見えます。

### 留意点

ブリッジはその名のとおり、失われた歯を両隣の歯で支える仕組みになっていますので、1本の歯を治療するために、たとえ両隣の歯が健全であっても削ることが不可欠となります。

支えとなる両隣の歯に負担がかかり、将来、その歯を失う確率が健全歯と比べて高くなります。

ブリッジの真ん中の部分（歯根がない部分）は歯肉との間に隙間が出来て清掃しにくくなります（口腔衛生の状態が不衛生になる確率が高まります）。

空気がもれて発音がしにくいとか、相手からは聞き取りづらくなることがあります。

### 治療費用

健康保険適用の材料を用いれば、保険の適用範囲となります。使用材料が自由診療の材料となる場合は自由診療の費用となります。

## 義歯 一部またはすべての歯がない場合

ブリッジの治療では行えないような多くの歯を失った場合（総入れ歯のような）にも用いることが出来ます。

隣の歯を削る必要がありません（ケースによっては隣の歯にバネのようなもので固定する場合もあります）。

留意点	バネによりブリッジの場合と同じように、隣の歯に力の負担がかかることがあります。 噛む力は天然歯に比べて30%位に減少します。 固定式ではないため、食事中や会話の最中にはずれたりすることがあります。 取り外して入れ歯の手入れをする必要があります。 入れ歯と口腔粘膜の間に食べ物が挟まったりして、衛生状態が悪くなることがあります。
治療費用	健康保険適用の材料を用いれば、保険の適用範囲内となります。使用材料が自由診療の材料となる場合は自由診療の費用となります。

## インプラント 一部またはすべての歯がない場合

インプラント治療は人工歯根治療ともいわれ、歯の抜けた部分の頸の骨にインプラント（人工歯根）を入れて支柱とし、その上に支台部（歯を直接支える部分）と人工の歯をしっかりと固定する治療法です。噛む力が天然の歯の80%位まで回復します。審美性に優れています。インプラントは生体との親和性が高いチタンという金属で造られています。

留意点	インプラントを頸の骨に埋め込むための手術が必要です。手術が出来ない症例もあります。
治療費用	インプラントは健康保険の適用外ですので、自由診療となります。各人の手術の難易度が違うこと、また、治療の範囲により埋め込む本数が変わります。必要な費用は事前の診断により算定されます。